



最初にお読みください

CentreCOM® AR550S リリースノート

この度は、CentreCOM AR550S をご購入いただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、取扱説明書（J613-M0710-00 Rev.B）とコマンドリファレンス（J613-M0710-03 Rev.E）の補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 2.9.1-21

2 重要：バージョンアップ時の注意事項

本製品を正常にご利用いただくために、最新のブートファームウェアへのアップデートを行ってください。

- 本製品の最新ブートファームウェアは、弊社 Web ページに掲載されています。
- ブートファームウェアのバージョンアップ方法の詳細は、「AR ルーター ブートファームウェア更新手順書」（弊社 Web ページに掲載）を参照してください。
- ご使用いただいている本体のブートファームウェアは、SHOW SYSTEM コマンド実行時に表示される「Boot Image」の欄で確認できます。

ファームウェアファイルをバージョンアップする際には、最新のファームウェアインストーラをご使用ください。ただし、ソフトウェアバージョン 2.7.x から、2.9.1-21 にバージョンアップするときは、ファームウェアインストーラ Ver.1.9.7 を使用し、以下の点にご注意ください。

- セットアップツールによるバージョンアップ完了後、コンソールからログインして、以下のコマンドを実行してください。

```
set install=prof gui=5529121j.rsc
```

3 本バージョンで追加された機能

ファームウェアバージョン 2.9.1-20 から 2.9.1-21 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

3.1 ENABLE FIREWALL POLICY コマンド OPTIONS パラメーターの拡張

 **参照** 「コマンドリファレンス」/「ファイアウォール」/「ファイアウォールポリシー」

ENABLE FIREWALL POLICY コマンドにて許可設定が可能な IP オプションに "ROUTER ALERT" を追加しました。

4 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 2.9.1-20 から 2.9.1-21 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 4.1 HTTP サーバーが有効なとき（デフォルトは有効）、細工された特殊な HTTP リクエストを受信するとリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 4.2 SSH サーバー機能において、大量の暗号化データを処理中に SSH クライアントとのセッションが切断されるとメモリーリークが発生することがありましたが、これを修正しました。
- 4.3 OSPF と IP ルートフィルターの併用時、IP ルートフィルターの設定に関連する、宛先 IP アドレスが同一でマスクだけが異なる経路が複数ある場合、OSPF の経路情報が正常に登録されないことがありましたが、これを修正しました。
- 4.4 OSPF ASBR としての動作中に再起動すると AS 外部経路を正しく通知しなくなることがありましたが、これを修正しました。
- 4.5 IPv6 サブネットルーターエニーキャストアドレス宛での Ping パケットを受信するとリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 4.6 IGMP Snooping 有効時、LAN 側ポートに複数のマルチキャストリスナーが接続された場合に、マルチキャストトラフィックが流れないポートがありましたが、これを修正しました。
- 4.7 ファイアウォール NAT（インターフェース NAT のダイナミック ENAT）使用時、PRIVATE 側インターフェースがリンクダウンしていると、PRIVATE 側インターフェースの IP アドレスに宛てた PUBLIC 側からの Ping パケットに誤って応答していましたが、これを修正しました。
- 4.8 ファイアウォール有効時、TCP 以外のフラグメントパケットを Tiny Fragment Attack と誤認識して破棄していましたが、これを修正しました。

5 本バージョンでの制限事項・注意事項

ファームウェアバージョン 2.9.1-21 には、以下の制限事項や注意事項があります。

5.1 認証サーバー

「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「認証サーバー」

RADIUS サーバーを複数登録している場合、最初に登録した RADIUS サーバーに対してのみ、SET RADIUS コマンドの RETRANSMITCOUNT パラメーターが正しく動作しません。最初の RADIUS サーバーへの再送回数のみ、RETRANSMITCOUNT の指定値よりも 1 回少なくになります。本現象は 802.1x 認証を使用した場合のみ発生します。

5.2 ポート認証

 **「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「ポート認証」**

- DISABLE PORTAUTH コマンドで、PORTAUTH パラメーターに 8021x を指定すると、EAP Success パケットを送信してしまいます。
- RESET ETH コマンドによって Ethernet インターフェースを初期化しても、認証状態は初期化されません。
- 802.1x 認証済みのクライアントがログオフした場合、ログオフしたクライアントの MAC アドレスがフォワーディングデータベース (FDB) に保持されたままになります。
- ENABLE/SET PORTAUTH PORT コマンドの SERVETIMEOUT パラメーターが正しく動作しません。これは、SET RADIUS コマンドの TIMEOUT パラメーターと RETRANSMITCOUNT パラメーターの設定が優先されているためです。SET RADIUS コマンドで TIMEOUT × (RETRANSMITCOUNT + 1) の値を SERVETIMEOUT より大きく設定した場合は、SERVETIMEOUT の設定が正しく機能します。
- MAC ベース認証ポートに指定しているインターフェースをブリッジポートに指定すると、不正なユーザー名の認証リクエストが送出されます。

5.3 ブリッジング

 **「コマンドリファレンス」 / 「ブリッジング」**

ポート 1 がタグ付きパケットのブリッジングの対象となる VLAN に所属し、その VLAN に IP アドレスが設定されている場合、ポート 1 から VLAN の IP アドレス宛ての通信をしようとすると、ルーターが ARP に応答せず、通信ができません。これはポート 1 でのみ発生し、他のポートでは発生しません。

5.4 ダイナミック DNS

 **「コマンドリファレンス」 / 「IP」 / 「名前解決」**

- ダイナミック DNS のアップデートで、以下の 2 つのケースにおいて、アップデートは再送されません。
 - ・ 本製品からの TCP SYN パケットに対して、ダイナミック DNS サーバーからの SYN ACK パケットが返って来ない場合
 - ・ 本製品からの TCP SYN パケットに対して、ICMP Host Unreachable メッセージが返される場合
- ダイナミック DNS のアップデート (HTTP GET) に対する応答として、ダイナミック DNS (HTTP) サーバーから特定のエラーコード (404 Not Found) を受信すると、SHOW DDNS コマンドの Suggested actions の項目に HTML タグの一部が表示されることがあります。

5.5 IPv6

 **「コマンドリファレンス」 / 「IPv6」**

- RIPng 経路を利用して IPv6 マルチキャスト通信を行っている場合、経路が無効 (メトリック値が 16) になっても、しばらくその経路を利用して通信を行います。

- ガーベージコレクションタイマーが動作中の RIPvng 経路は、新しいメトリック値を持つ経路情報を受信しても、タイマーが満了するまで経路情報を更新しません。

5.6 ファイアウォール

 **「コマンドリファレンス」 / 「ファイアウォール」**

HTTP プロキシ機能使用時、受信した HTTP パケットに複数の Cookie 要求が含まれている場合、DISABLE FIREWALL POLICY HTTPCOOKIES コマンドを実行していても、その Cookie 要求を破棄せずにフォワードしてしまいます。

5.7 UPnP

 **「コマンドリファレンス」 / 「ファイアウォール」 / 「UPnP」**

UPnP において、同一ポート番号の TCP、UDP から自動ポートマッピングの要求が発生した場合、先に受信した方しかポートが開放されません。

5.8 DHCPv6 サーバー

 **「コマンドリファレンス」 / 「DHCPv6 サーバー」**

- ADD DHCP6 POLICY コマンドで DHCPv6 サーバーの設定を変更しても、サーバーから Reconfigure メッセージが送信されません。ADD DHCP6 POLICY コマンドの実行後、さらに SET DHCP6 POLICY コマンドを実行してください。これにより、Reconfigure メッセージが送信されます。
- DHCPv6 サーバーで認証機能を使用した場合、ADD DHCP6 KEY コマンドの STRICT パラメーターが動作しません。

5.9 ログ

 **「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「ログ」**

複数のログフィルターにそれぞれ複数のログ出力インターフェースを使用する場合、フィルターによって分類されたログメッセージが一つのメールで送信されません。

6 取扱説明書・コマンドリファレンスの補足

取扱説明書 (J613-M0710-00 Rev.B) とコマンドリファレンス (J613-M0710-03 Rev.E) の補足事項です。

6.1 STATUS LED

 **「取扱説明書」 19 ページ**

本製品の STATUS (SYSTEM) LED には、以下の状態も含まれます。

LED	色	状態	表示の内容
SYSTEM	橙	短い3回点滅の繰り返し	内部電源ユニットに異常が発生しています。

7 取扱説明書とコマンドリファレンスについて

最新の取扱説明書（J613-M0710-00 Rev.B）とコマンドリファレンス（J613-M0710-03 Rev.E）は弊社ホームページに掲載されています。

本リリースノートは、上記の取扱説明書とコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、お手持ちの取扱説明書、コマンドリファレンスが上記のものでない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

※パーツナンバー「J613-M0710-03 Rev.E」は、コマンドリファレンスの全ページ（左下）に入っています。

<http://www.allied-teleasis.co.jp/>